

(審議内容の一部を掲載しました。)

委員会レポート



東原児童館平成29年4月オープン予定 平和台児童館は大林児童館に統合

この秋開催 町制施行60周年記念事業

総務福祉文教

町民建設経済

条例改正

町の防災会議に自衛官の任命とは
A 各種災害が多発している状況から、自衛隊の知見を活用されるように要請する。

一般職員人事評価と勤勉手当の内容は
A 4月から新たに導入予定で、手当について、今後は制度を反映したものと個人差は出る。

平成28年度予算

地方税滞納整理機構へ委託の滞納総額は
A 28年度滞納整理機構へ移管予定者の滞納額は、8百8万4千円となる。

防災無線について、聞き取りづらいなどの声があるが、点検と合わせて課題解決への考えは
A スピーカー角度の調整や保守点検と併せ必要箇所の調整に努める。

佐久医療センター負担金は単年度かまた、周産期医療の観点で、当初方針での受け入れ状況が変化しているが検討の必要は

A 町としては単年度との認識できたが、佐久広域の関係、交付税措置率の変化により3年間の可能性も出ている。

かかりつけ医で対応不能についてが基準のはずだが指摘の傾向がみられる。紹介受け入れ困難などの声もある。検討し広域会議でも伝えていきたい。

学力検査はどの様に行い、全国平均との比較は。結果の公表は

A NRT学力テストは1年生4教科、2・3年生5教科で、全国レベルである。QUTテストは学校満足度調査で、学級の間関係や学校に対する思いを表す。これによりいじめの有無などの把握に繋がるという。比較はできる。中学が1校と特定されるため傾向のみで具体的公表はしない。

国保税が前年度より1千800万程の減だが、税の徴収率は

A 医療、後期医療・介護の合算で85.4%で前年比0.9ポイント増。滞納繰越分15.8%で0.4ポイント増である。滞納金額は7千200万円程になる。

27年度から介護保険事業第6期が始まった。認定について町民からの誤解もあるようだ。予防に力を入れている事の周知と、7期に向け見直しは

で拡幅整備工事は完了している。

残り2路線のうち1路線を概略設計するもので、塩野中宿からサンラインに抜ける延長900mを計画しているが、細かい位置は区と調整していきたい。もう1路線は上宿を予定している。

東原児童館の建設費が計上されているが、工事計画と東原児童館完成後の児童館体制の将来構想は

A 東原児童館は平成29年4月オープンに向け建設工事を進めていきたい。平成28年度の児童クラブ申し込み人数は、大林14名・平和台48名・東原70名である。東原は高学年対応していないが、オープン後は130名ほどの申し込みを予想している。児童館体制は以前から1小学校に1児童館という構想があるので、平和台児童館は大林児童館新築により統合という形で、28年度に廃館する予定である。

井戸沢最終処分場残存量調査はどのようなことをするのか

A 残存量は、埋め立てゴミの重さでの推計だったので正確とは言えなかった。今後2年かけ、ゴミの量と覆土の量を算出して利用可能な推計年数を出し、処分場を延命させるといふ方向を考えている。平成27年度補正予算で土地購入を承認された上流部については、測定結果を見て次

A 6期での減額で済んだ分を基金つみたて、7期の保険料の軽減に充てる予定である。

60周年記念事業の規模と予定は

A 一番のメインとしては9月30日の合併記念式典を少し大がかりに予定している。通常では自治功労賞ということで表彰をしているが、各団体や企業についても候補者をあげてもらい、エコールみやたで祝賀会のように大きく行いたいと思っている。それ以外は各課での取り組みイベントで行う。あまり予算をかけ過ぎないよう考慮している。



合併調印式 (S31年)

期計画を考えたい。

松くい虫被害の現状と対策は

A 被害数は増えている。対策は、これまでの被害木を切り倒す方法から、森林・樹木を選定して保護する方法に方針転換しつつあり、保護指定されなかった松は枯れてもやむを得ないという考えに変わりつつある。国県からは、松くい虫被害の拡大防止を

求められている。



手狭になった東原児童館